



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニュース

令和5年度 No.1 第142号 令和5年6月30日

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 齋 藤 洋 平
印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <https://toyama-ot.org/>
富山県作業療法士会会員数：681人

第20回富山県作業療法学会を終えて

富山ろうさい病院 市森 知恵

令和5年2月26日に第20回富山県作業療法学会が県学会では初となるハイブリッド開催という形で開催されました。すでに聞きなれたハイブリッドという言葉でも主催側になるということは、機械やシステムに疎い私にとって不安が大きいものでした。

さらに最初の会議からリモートで行われ、多くのスタッフと対面で会うこともないまま準備が進められたこともあり、顔もわかり会話ができて人も人柄まではわかりにくく、なんとなく距離は遠いような気がしていました。

実際に対面でスタッフと会えたのは準備が始まって9カ月ほど経ったころでした。会場でのリハーサルで改めて挨拶した時は少し緊張したのを覚えています。しかし、その時に交わした会話によってぐっと距離が近づいたと感じ、対面で接するという大事さを改めて実感しました。（この時に尽力してくださった会場スタッフや施設担当者の方々のおかげで学会当日のスムーズな進行につながったと思っています。ありがとうございます。）

学会は感染予防に注意しながら無事開催され、オンラインでの視聴を含めて121名の参加となりました。参加して下さりありがとうございます。



た。開催後のアンケートは61.9%の回答率でしたがその65%に当たる人数が現地での参加でした。やむを得ず会場に来られなくな



った方もオンラインという方法で学会に参加することができており、ハイブリッドならではの利点も感じる事ができました。

演題発表やシンポジウムが壇上で行われ、会場内からは質問も多く見られました。演者は質問する方との「顔が見える環境」に安心している様子であり、相手がその返答に納得できているかどうかを確認しながら返答している様子はコロナ前のような感じました。

個人的には遠方での開催のためやむなく参加を見送ることもなく学会に参加できる今のシステムは非常に便利であり、今後も継続してほしいものではありますが、現地参加は学会の雰囲気を感じ、一生懸命発表している姿を実際に拝見し体感することが出来、自身の向上意欲を湧き立たせ、次に頑張る活力になると感じています。今回はOTっていいなと再認識できたシンポジウムであり、自分の魅力って何だろう…ともう一度立ち返って考えるきっかけを与えてくれた講演だったと思います。充実感と同時に、久々の対面での学会で心地よい疲労感を感じた一日でした。さいごになりますが、学会の準備にあたり尽力してくださったスタッフの皆さま、当日会場で進んで動いてくださったスタッフ、その他協力いただいたすべての方にこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

第20回富山県作業療法学会に参加して

公立南砺中央病院 福田 恵津子

今回、2023年2月26日に開催された第20回富山県作業療法学会に参加させていただきました。新川文化ホールを会場とし、ハイブリット形式で開催されました。学会は「自分の強みを生かすブレイクない個々への成長、此処からの広がりー」というテーマで、特別講演やシンポジウム、各部会委員会の取り組み紹介や生活行為工夫情報コンテスト、障害福祉作品展等、様々な企画があり充実した時間を過ごすことができました。

私は「最期まで自分らしく生きるために独居再開を果たした一例」という演題名で口述発表をさせて頂きました。発表前はとても緊張していましたが、会場に着くと明るい受付の雰囲気や学会長からの可愛いクッキーにとっても癒され、一気に緊張がほぐれました。発表では、末期癌と診断され不安と戦いながらも懸命に最期まで自分らしく生きた症例との関わりを報告しました。突然癌と告知された60歳代の男性が独居を再開するにあたり、病棟では生活歴や趣味、人生観、病気への思い等について時間をか

けて傾聴し、コミュニケーションを大切にしながら介入しました。OTとして、自宅で何をして過ごしたいか、どんな作業を自分らしいと感じるか、「病気」のみに焦点を当てるのではなく「その人」自身に焦点を当てて介入するように心がけました。写真は、初めて病室から出て、屋外散歩を行った帰り道に症例自身が撮影した写真です。「空に向かって迷いなくまっすぐ枝が伸びている。かっこいいな。」と呟いた症例の言葉がまだはっきりと私の胸に残っています。死に対する恐怖、残された時間で過ごすかという自身の思いを、まっすぐ伸びた枝に投影していたのだろろろと感じています。また、終末期における退院支援では、病院と在宅を結び付ける懸け橋となれるよう、症例の友人や近隣住民など地域の方との関わりを大切にしました。最期は症例の希望であったご自宅で静かに永眠されたそうです。ご冥福をお祈りするとともに、症例に本当に感謝しています。

また、発表後も座長の先生はじめ多くの方にお声かけして頂き、とても励みとなり、更に日々研鑽していきたいと感じました。今回の発表に向けて、何度も症例の振り返りを行い、OTとしての介入を再考し、文献を読み、沢山のことを考えさせられました。学会発表は時間もかかり負担も多く、マイナスなイメージもあるかと思いますが、自分にとってとても貴重な経験になると思います。学会発表で学んだことは、今自分が携わっている患者さんや利用者さんにも必ず活かされると思うので、ぜひ今後も発表して下さる方が増えたらいいなと感じています。最後に、学会を準備して下さった学会長はじめ、スタッフの皆様、貴重な機会を頂きありがとうございました。



精神障害部会研修会に参加して

川田病院 長井 一史

令和5年2月11日(土)、精神障害部会のZoomによるWeb研修会に参加させていただきました。NPO法人那須フロンティア地域生活支援センターゆずり葉の木村友一先生による「地域移行・地域定着支援の実際と作業療法士の視点」というテーマの研修会でした。

僕は病院で多くの患者さんに関わらせていただいているのですが、実際に地域で活躍されている作業療法士の方は、どのような取り組みをされているのか、退院へどのようにつながられているのか興味がありました。

ゆずり葉では、地域住民助け合い事業やゆずり葉野菜店などの事業を通し、専門職が主体的に関わるのではなく地域全体でサポートし、障害の有無に関わらず地域住民の一員として、その人が自然と生活できる環境作りを心掛けているとお話いただきました。僕が一番興味深い内容だったのが、月1回定例で各市町の相談支援専門員、委託相談支援、保健師、ピアサポーターなど外部の支援機関を招き、入院患者さんとの相談や医療の現状、地域の実情などの情報交換会、薬剤師による服薬指導など、病院主催で行うよろず相談会というものでした。この取り組みにより、入院患者さんの現状や問題点などの情

報収集が出来たり、外部の支援機関の方と顔を合わせる場にもなり、知っている人がいる安心感や一緒に学ぶ機会を作ることで、退院の動きに連動性が生まれるというお話でした。患者さんだけでなく、専門員や病院職員も一緒に学ぶというところに魅力を感じ、他職種連携の大切さを改めて感じました。

今回の研修会を通して、地域移行では、患者さんとその地域の特性に合わせた支援計画や地域の方との関係性、安心して暮らせる環境作りなど、細かなところまで配慮していく大切さや大変さを知ることが出来ました。また、患者さんの退院に向けて取り組んでいくにあたり、病院周辺や身近な環境だけでなく、外部の施設や事業所へも目を向け、地域や他職種の方との連携まで視野を広げていくことの大切さを学ぶことが出来ました。日本の精神科医療の現状として、少しずつ病床数や入院患者数は減少してきているものの、家族からの受け入れ拒否や適応可能な施設が見つからず、退院後の行き先がないなどの理由で長期入院となる方が多くおられます。少しでも患者さんの退院につながられるように、外部の事業所や地域の現状などにも目を向け、幅広い視野で考えられるように頑張りたいです。

令和4年度 富山県作業療法士会 精神障害部会研修
「地域移行・地域定着支援の実際と作業療法士の視点」

NPO法人那須フロンティア 地域生活支援センターゆずり葉
作業療法士/生活支援専門員 木村友一

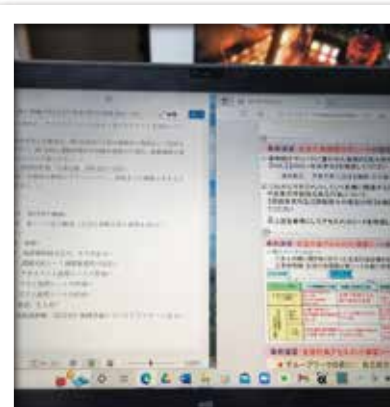
MTDLP基礎研修に関して

MTDLP推進委員会委員長

アルペンリハビリテーション病院 山本 皓太

今年度より教育局MTDLP部から生活支援推進局MTDLP推進委員会へと所属が変更となりました。全国的にも2015年から生活行為向上マネジメント（以下MTDLP）の重要性が広まり現場で活用する機会も多くなってきています。当士会でも、より多くの士会員がMTDLPを活用し一人でも多くの対象者が作業を通して元気になることを目標に活動を行っています。

生涯教育制度の一部となっているMTDLP基礎研修も今年度で早9年目を迎えています。新型コロナウイルス感染拡大前までは対面研修でMTDLPの基礎を学び、応用研修では模擬事例を通して熱心にグループワークが行われていました。2021年からはZOOMを活用したオンラインでの研修を継続しています。当初は議論がしっかり行えるかなど不安が強かったですが、その不安を払拭するように熱い議論が成され安堵した記憶が鮮明です。今年より新型コロナウイルスの感染症法の分類は第5類になり社会活動も取り戻りつつあります。対面での研修希望も増えてきている中、当委員会も対面研修を模索している段階です。再び熱い議論が行えるよう今年度も普及活動を頑張っていこうと思っています。



きとっピダンス 監修より

富山県作業療法士会 会長 斎藤 洋平

みなさんは普段、目の前の患者さんや地域の方々にどのように関わっているのでしょうか。

診療報酬や教育課程など、作業療法士を取り巻くほとんどが、個別主体となり、作業療法士による集団療法は一部で行うものとして捉えている作業療法士も多いのではないのでしょうか。

私が地域包括支援センターと健康課健康増進係に異動となり、健康教育や介護予防に関わる中で、そのほとんどが集団療法（ポピュレーションアプローチ）となっています。そして、リハビリ専門職が目前にいないときの動機づけ支援を行います。このような取り組みのなかで、作業療法士によるレクリエーションや効果的なポピュレーションアプローチを今一度見直すべきだと強く考えるようになりました。

南砺市では、ご当地体操「ほっとあっとなんと体操」を3部製作し、週一運動サロンやグループで取り入れてきました。また、令和4年度に生活習慣病対策向けの4作目を製作しました。そして、高齢者には、どのような要素や構成がよいのかを効果検証しながら広めてきました。一方、某アーティストによる体操の論文も出され、学術的にも高齢者がリズムに合わせて楽しく体操することが、介護予防の手段として認められてきました。

令和4年にNHKとやま放送局から、これまでの地域リハビリテーションや介護予防の取り組みを元に、きとっピダンスの監修依頼が舞い込みました。音楽は岡崎体育氏、振り付けはMARIE氏と、名前を聞いたときは、いすから転げ落ちました。

きとっピダンスの目的は、フレイル予防にも使えるダンスを作り、いろいろな場所で世代を超えて踊って欲しいとのことでした。打ち合わせを重ね、大まかに完成したものを拝見しました。高齢者の能力は多様性があり、一つでは使いにくく、抵抗される方もいるということもあるため、きとっピダンスは、立って行う

バージョンと座って行うバージョンを作りました。また、リズムに合わせた単調な振り付けだけではなく、「1、パン、2、パン」というような、変則的な振り付けも求めました。（これらを踏まえ、どのようなダンスになったかは、NHKとやま放送局のホームページをご覧ください。）撮影場所は、南砺市内のスーパーの一角で行われている通所型サービスBの事業所で行いました。撮影のために、通所に来ていただいたときに毎回練習をされていたようで、撮影当日は、緊張のなかにもとても楽しそうでした。このようなイベントも利用者の動機づけともなったようです。

今後は、8月26日に富山市総曲輪グランドプラザで開催される、とやま介護テクノロジー普及・推進センター主催のイベントでも、NHKとやま放送局のご協力を得て、きとっピダンスを踊る予定です。これには、富山市内在住の高齢者、学生、専門職が参加し、世代を超えて一緒に踊ります。このような広がりや、個別療法ではできない、地域づくりに作業療法士が参画した事例ではないのでしょうか。

作業療法士が地域で働くためには、限定的な手技や理論に捉われない、作業療法が大切です。多くの方々や多職種と関わることで、我々自身も多くのことを学ぶことができますし、いずれは、新たな職域へとつながります。忙しい日々の臨床の経験をベースとしながら、得たことを様々な方法で、多くの方に提供してほしいと思います。



第二回 生活行為工夫 情報コンテスト

前回の受賞作品です。
締め切りは12月末日

【コンテストの目的】
・生活行為における作業療法の支援技術の蓄積
・生活行為の困りごとに対する作業療法のワザ（業・技）についての理解を深める機会とする

食事を自分で食べたいが、手先の巧緻性が悪くなり、スプーン操作が難しくなった方にスプーンの柄の工夫をして持ちやすくした



お手軽賞

骨折による上肢の筋力低下により洗濯物干しができなくなったリウマチの方にリーチ棒を用いた事例



ありがとう賞

上肢の筋力低下がみられる高齢者や片麻痺の方が、片手で小さい力で、手動式ポットを押し、お茶くみできるように工夫した事例



発想賞

Needs賞

腰椎圧迫骨折により高所への上肢操作に疲労を呈した対象者へ、物干し竿を使った洗濯干しを続けられるよう、環境を工夫した事例



まずは、
登録してね

<https://www.jaot.info>



【選考基準および表彰について】

- ・選考は審査表に基づき、委員で行います。
- ・最優秀賞の方は事前に連絡しますので、学会内でプレゼンをお願いいたします。
- ・事例登録方法は、福祉用具相談支援システムHPで確認ください

福祉用具支援事業委員会：yfukushi765@gmail.com

呉陽病院は呉羽山のすぐ側にあり、自然に恵まれた環境にあります。病棟（118床）、デイケアがあり、敷地内には就労継続支援B型事業所、地域生活支援センターがあります。作業療法士は病棟に配属されています。

コロナウィルスの感染拡大前は3階の作業療法室で病院全体の作業療法を実施していましたが、コロナ体制下において、感染予防の目的で3病棟は作業療法室、2病棟は2階のレク室で行うこととなりました。令和5年5月8日に、5類感染症に移行後も引き続きこの体制を継続していくことに決まり、2階のレク室は新しく作業療法室として整備していく過程にあります。

コロナ体制下に入ってから以来、2病棟、3病棟に分かれOTR2名ずつ、女性4名の配置となっています。コミュニケーションは良好ですが、業務は各病棟ほぼ独立して行っています。

コロナ体制の中で、入院はあっても退院となるケースは転院等以外少ない状況です。他職種と連携しながら様々な状況に応じて退院促進に努めています。他職種と話しやすく、退院時も玄関の外で師長と一緒に見送る時もあります。

対象疾患は、統合失調症、双極性障害、神経症から認知症、発達障害まであり、他の精神科病院と変わらないと思いますが、高齢層と若年層に二分化していると感じています。

2病棟OTは広い空間で圧迫感が少なく密で

も無く、様々な隊形を設定しやすい良さと設備が未整備である特徴があります。作業療法としてはホスピタルアートとしての効果も考慮した壁飾り（月1回）、SST、神経症の方等必要な場合には、検討した末、個別で認知療法を実施しています。月末には翌月の集団プログラムを手書きで貼り出しています。ノートに写したり、エアロビクスの時にチェックしたりし、月末に催促する方々もおられます。

3病棟OT室は大きな窓から立山連峰と呉羽山を望む環境の中で植木鉢による園芸、完成すると「立山連峰とチューリップ」の絵が壁面を飾るモザイクアート、帆布を使用した本格的なかばん作り等の作業活動をしています。

各病棟とも集団OTとしてはエアロビクス（週1回、RO、ストレッチ、脳トレ、カラオケを含む）、お菓子作り（5月下旬から再開、料理は現在再開未定）、カラオケ、ゲーム（身体機能を使うもの、精神機能を使うもの）等を実施。個別OTと集団OTを組み合わせながらより症状が安定し、対人交流を図り、QOLが向上していくように努めています。

作業活動やエアロビクスの練習、認知療法の勉強等、作業療法の幅の広さと奥深さに日々OTR4名で模索奮闘中です。



会員リレーコラム



介護老人保健施設
レインボー

奥村 美里

県士会の皆様、こんにちは。私は、介護老人保健施設レインボーに所属している奥村美里と申します。この度、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの長江和彦さんからリレーバトンを受け取りました。長江さんとの出会いは私がまだ学生の時で、当時臨床実習でお世話になった病院に勤務されていて、サブバイザーを担当してくださいました。その後、作業療法士として入職し、4年間お仕事を一緒にすることができ、いつも悩んでいる私たち後輩たちに優しく温かくご指導してくださいました。そんな先輩から久しぶりにご連絡をいただき、とてもうれしい気持ちです。

今回は、私の“趣味・興味のあること”というテーマでお話したいと思います。趣味は、音楽を聴いたり、楽器を演奏することです。気分が良い時も元気が出ない時も、好きな音楽を聴く

と気持ちが持ち上がります。また、コロナ禍で外出しにくかった時期に、新しいことをしたい！と思いたって、ウクレレに挑戦しました。弦楽器は初めての経験でなかなか上達しませんが、スピッツの「チェリー」という楽曲のサビの1フレーズを弾くことができるようになりました。ウクレレの音は、温かみがあってどこか懐かしいような感じがして好きな楽器のひとつです。

興味のあることは、自然などの景色をみることです。富山に来て2年目ですが、寒い時期に澄んで見える立山連峰の眺めにとっても感動しました。最近は、季節の草花を見に行く機会が多く、桜やチューリップ、先日は満開のシャクヤクなどのお花見を楽しんでいました。今年は、登山やトレッキングなど、山にも出かけてみたいと思っていて、いろんな景色に出会えるのが楽しみです。富山の自然を楽しみつつ、そろそろ他の地域にも足を運びたいなあと感じています。

最後に、次のバトンは福寿園福野デイサービスセンターの野原果鈴さんにつなげたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



市立砺波総合病院

南 太基

県士会の皆様こんにちは。射水市民病院の米田さんからバトンを受け継ぎ、今回のコラムを担当させていただきます。市立砺波総合病院の南太基です。富山医療福祉専門学校を卒業し、作業療法士になって今年で3年目となりました。現在は、急性期の内部障害疾患や整形外科領域の患者を主に担当しています。内部障害疾患は、病態の変動が大きく、治療も日々更新されます。患者の状態理解するために、検査結果や投薬などの情報収集に時間を要してしまうため難しいなと感じています。患者の病態をイメージしながら安全にリハビリを進められるようになりたいなと思っています。手外科領域のリハビリは、はじめは分からないことが多く、尻込みをしてしまうこともありました。

先輩方に教えてもらいながら、少しずつ理解を深めています。自分で作れる装具も増えてきて、現在は楽しさと難しさとやりがいを感じています。

話は変わりますが、休日は友達とフットサルをしたり、一日中漫画や映画を見たりと気分によってインドアとアウトドアを楽しみながら過ごしています。趣味はプロ野球観戦です。今年北海道にとってもワクワクする新球場が誕生しました。今年はなんとか北海道の新球場へ行って温泉に入りながら野球観戦するのが密かな目標です。

また、今年はフルマラソンに挑戦してみようと思い、富山マラソンに初参加する予定です。思い立ってのことですが、なかなかトレーニングを始められずにいるのが現状です……。患者さんに毎日自主練習に励みましようとして指導しているので、自分も負けなようにトレーニングに励みたいと思います。

最後に、今回はアルペンリハビリテーション病院の谷口優さんにバトンを渡したいと思います。

■ 会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	安井 絢賀	仁泉メディケア	自宅	
異動	佐賀 真也	真生会富山病院	ソフィアメディ訪問看護ステーションサテライト高岡	
異動	出口 裕基	射水市民病院	富山大学附属病院	
異動	水嶋 唯乃	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	あさひ総合病院	
異動	中林 亜沙美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	所属なし	
異動	鳥山 萌々華	砺波誠友病院	自宅	
異動	本郷 朋子	八尾老人保健施設 風の庭	横田記念病院	
改姓	永守 真奈花			旧姓 朝野
改姓	真田 美桜			旧姓 松谷
改姓	田中 恭平			旧姓 鶴田
退会	河原 さくら	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		
退会	今村 唯奈	池田リハビリテーション病院		
退会	村上 和輝	ふるさと病院		
退会	竹田はるか	市立砺波総合病院		

■ 新入会員

氏名	所属	氏名	所属
橋 蒼生	みどり苑	新鞍 拳吾	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
木村 元哉	金沢医科大学 氷見市民病院	小川 愛	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
吉澤 泰輝	光ヶ丘病院	野口 葵	富山県立中央病院
犀川 彩有	光ヶ丘病院	植田 寛	富山西リハビリテーション病院
小林 ひかる	光ヶ丘病院	加藤 遥紀	富山西総合病院
藤森 真依	射水市民病院	山崎 真凜	富山大学附属病院
小高 さゆり	真生会富山病院	畠山 優乃	富山大学附属病院
鈴木 李野	西能みなみ病院	飯田 正樹	富山病院 (旧所属：七尾病院)
小林 春花	西能病院	草島 杏柚	友愛温泉病院

第21回富山県作業療法学会の開催決定

本年度の学会は、来年2月25日(日)、サンシップとやまにてハイブリッド開催(現地+Live配信)での開催が決定しました。学会のテーマは「共に考え、共に創る、新時代の作業療法」と掲げました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」となり、本格的なWithコロナ時代が到来する中、本年度は、ハイブリッド開催としながらも、多くの方に現地に行きたいと思っていただけるような「新しい学会」の形を模索していく予定です。同封の学会チラシ(内容は予定)を各職場に掲示していただけるようご協力の程よろしくお願い致します。



県学会キックオフ会議の様子

令和4年度 第7回理事会

日時：令和5年2月16日（木） 19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、
丁子、安本、能登、堀口、中山、塚田、水島、
能登、中川、小倉、森

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 災害対策委員会
 - ・ J I M T E F についての報告を確認。
 - 2) 認知症委員会
 - ・ 若年性認知症の本人と家族の会。年6回開催、OT2～5名/回参加。
 - ・ 介護福祉士会、作業療法士会および学生との研修会⇒承認。内容検討。
 - 3) 地域アドバイザー委員会
 - ・ 2月14日 砺波地区勉強会 報告
 - ・ 黒部市広報誌に士会パンフレット掲載依頼⇒承認
 - 4) 事務局
 - ・ 個人情報保護法改正について塚田氏にて資料保管。
2. 富山県関係事業への対応
 - 1) 連盟活動について
 - 協力していく方向
 - 2) 富山県介護ロボット協議会
 - ・ 令和5年2月20日 ニーズシーズマッチング委員会へオブザーバー参加⇒作業療法士のかかわりについて報告
 - ・ 3月3日 北酸との話し合いあり。報告。
- 3) 協賛事業：作業療法士による国際協力ネパール・マレーシア活動報告
- 4) リハビリ専門職協議会
 - ・ 2月22日 広域連合と一体事業に向けた話し合い
 - ・ 3月4日 地域ケア会議に関する研修会開催予定
3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) 福祉用具支援委員会
 - ・ 2月6日 中部ブロック部会 資料添付 報告
 - 2) 北陸3県MTDLP事例検討会
4. 協会関連事業
 - 1) 令和4年度 振り返りシート
 - ・ 2月15日〆切。提出。資料添付。承認
 - 2) 協会・士会の説明および入会促進事業推進について
 - ・ 協会ホームページに資料掲載。各士会で活用。
 - 3) 47委員会
 - ・ 3月 齋藤、島津WEB参加予定
 - 4) 作業療法白書2021について
 - ・ 三役、事務局にて保管
 - 5) 資格登録済証明書について
 - ・ WEB申請が可能となり、時短となる。

《検討事項》

- 1) 調査部について
 - 調査部は、本年度は活動がなく、理事会からの調査依頼なし。部長退会の為、調査部を解散。
- 2) 令和5年度 予算案について
 - 各事業部の事業計画に沿って予算提出する。日当と謝金については検討継続。

- 3) 県士会活動に関する団体総合保障制度費用保険について。資料添付

令和4年度 第8回理事会

日時：令和5年3月16日(木)19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、
丁子、安本、能登、堀口、中山、塚田、水島、
能登、中川、小倉

欠席者：森

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 富山県作業療法士学会
 - ・ 次回学会長 富山市民病院 佐々木氏 内諾
 2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・ 2023年、2024年度 改選を挟み、齋藤代表
 - 2) 富山県介護ロボット協議会
 - ・ 令和5年2月22日 兵庫県にて齋藤講演(ZOOM)
 - ・ 3月3日 北酸との話し合い⇒製品化に向けて協力的
 - ・ 8月 介護ロボットのイベント(予定)あり協力。
 3. 東海北陸ブロック事業
 - 1) 東海北陸作業療法学会
 - ・ 2023年12月9日、10日 岐阜県にて開催。
 4. 協会関連事業
 - 1) 47委員会
 - ・ 3月11日、12日 ハイブリッド開催。齋藤、島津、松岡 WEB参加 ※リンク共有
 - ・ 議事録。資料URLメールに記載

《検討事項》

- 1) 総会について（ハイブリッド）
 - 開催日：6月11日
 - 方 式：ハイブリッド
 - （但し、参加は議場出席のみ。その他は委任状提出。委任状提出者および欠席者のために、動画配信。ただし、質疑応答は議場のみ）
 - 場 所：富山医専
 - 内 容：通常開催
- 2) 県士会事業に関する保険
 - 見積添付。補償額が安いもので他2社見積もりを取ってみる。

令和5年度 第1回理事会

日時：令和5年4月20日(木)19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、
丁子、安本、能登、堀口、中山、塚田、水島、
能登、中川、小倉、森

欠席者：桐山

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 学術部

- ・7月29日、30日 臨床実習指導者講習会予定
- 2) 県学会
 - ・県士会システム及び学会演題システムの更新必要(セキュリティ対策にする更新)
- 2. 富山県関係事業への対応
- 1) リハビリ専門職協議会
 - ・2023年、2024年度 改選を挟み、齋藤会長予定。事務局は富山医専。
 - ・事務局長はOT士会より選出(任期2年)。
 - ・委員: 松岡、大平、塚田
 - ・リハビリテーション専門職指導者養成研修事業委員会: 大平、佐賀
 - ・訪問リハ委員: 鷲尾、稲田、山本、中岡、四十物
 - ・災害: 高林、大平
 - ・地域リハ(介護予防、地域ケア会議、一体事業): 赤尾氏から安本氏へ交代、佐賀、
 - ・4月19日(ZOOM)、26日(現地)で一体的事業のOT士会プレゼン(齋藤氏)
- 2) 富山県介護ロボット協議会関連
 - ・4月18日 とやま介護テクノロジー普及・推進センター開所式 齋藤出席。
 - ・8月26日 総曲輪にて介護ロボットのイベント(確定)。内容の検討。
 - ・とやま介護テクノロジー普及・推進センターの登録相談員の募集。齋藤窓口。
 - ・2022年度介護ロボットプラットフォーム事業にて富山県OT士会が協力した動画公開
- 3) NHKとやま放送局への協力
 - ・巡回写真展示を引き受けてくれる施設模索。4月27日に南砺市内施設に齋藤同行。
 - ・8月26日のイベントで、きとっぴダンスと写真展示。
- 3. 東海北陸ブロック事業
- 1) 東海北陸作業療法学会
 - ・2023年12月9日、10日 岐阜県にて開催のため、47委員会を11月に日程変更
 - ・東海北陸学会のデータを、各県で共有可能とする方向へ検討中。
- 4. 協会関連事業
- 1) 連絡事項
 - ・地域包括ケアシステム参画の手引き(2022)第2版をHPに掲載
 - ・士会員=協会員について資料配信(齋藤にて保管)
 - ・5月27日(土) 13時30分より社員総会
- 2) 2023-2024生涯教育制度推進担当者
 - ・能登氏推薦

《検討事項》

- 1) 総会について
 - ・総会終了後に新人交流会を開催。1Fフロア使用
 - ・全体会と事務財務担当者会議は交通費と日当を支給(部長や委員長などの指示で参加した者)
- 2) 規程などについて
 - ・功労表彰や県士会費未納者の取り扱いについて規定内容検討
 - ・日当と諸謝金について規定内容検討
 - ・県学会の収入予算案を一部変更

- ・研修会当日のスタッフ参加者には基本的に日当は支払わない(準備・運営は支給あり)
- ・学会や研修会開催に伴う講師接待に関する費用の規定・統一を図る検討が必要。

令和5年度 第2回理事会

日時: 令和5年5月18日(木)19時より

ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者: 齋藤、松岡、桐山、島津、吉波、渡邊、大平、丁子、安本、能登、堀口、中山、塚田、水島、中川、小倉、森

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 地震発生後の対応について
 - ・5月5日 発生1時間後に、メーリングリストを用いて、被災された方の有無確認。
 - ・今後の対応 震度5強以上でなくてもメーリングリスト活用していく。委員会で検討。
 - 2) 教育部・生涯教育部
 - ・臨床実習指導者講習会の会員外の参加費について(相談があったかの確認) PT士会からの情報提供ないため、齋藤より確認。
 - 3) 富山県学会
 - ・令和6年2月25日開催 総会時に学会長より挨拶
 - 4) 生活作業療法委員会
 - ・主任ケアマネ研修の要件に該当する研修会などの確認。齋藤へ報告。
 - 5) 普及指導部
 - ・高校生体験会 7月30日決定 8月調整中。高校再編あったため、送付先住所の確認。
2. 富山県関係事業への対応
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・事務局: 塚田氏
 - ・一体的事業担当: 安本氏
 - ※外部へ個別名を伝える場合は、本人の了解を得て出すこと。OT県士会で依頼を受けてサポセンや協力機関に依頼していく
 - 2) 富山県介護ロボット協議会関連
 - ・5月17日 19時より介護ロボットサポーター会。齋藤、渡邊理事、野田氏 出席。
 - ・8月26日 総曲輪フェリオにて介護ロボットのイベント(確定)。作業療法士会ブースにて、作品展示や福祉用具アイデアコンクール作品出展(予定) 養成校の学生の協力要請→みんなできとっぴダンス、ブースの補助(学生7~8人) 普及指導部からは数名の協力
 - ・とやま介護テクノロジー普及・推進センターの登録相談員。士会より2名自薦あり。
3. 協会関連事業
 - 1) よんばち 47委員会&協会でよんばち
 - ・6月10日 オンラインにて開催。齋藤午後より参加。その他3役より出席予定。
 - 2) 組織率向上
 - ・アンケート: 士会長用は、齋藤回答。アンケート回答の集積。
 - ・総会の時に動画(会長メッセージ)を流す。

理事会議事録

《検討事項》

1) 総会について

- ・功労表彰：20年の実績を元に、19名に表彰。事業計画、最終確認を5月末締め切り。6月初旬にはHPに予算案、決算 作成。現在、委任状297名。参加者から議長、議事作成者氏名する。総会は配信予定 *議決権無

2) 定款の変更

後日（来週あたり）何名か集まって話し合いを誰に集まってもらうかは3役で決定

編集後記

5月より新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」となりました。マスクも個人の判断での着用が基本となっています。以前の日常が戻ってきたと一安心ですが、コロナ禍で大きく変化した生活様式が完全に元に戻ることは難しいかもしれません。中止や延期されていた行事等が再開される中、感染予防と両立しながら、日々を楽しんでいければと思います。(R.M)

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名 (代表者)	住 所
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (学長 米島 學)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
医療法人社団いずみ会 (理事長 大西 仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (理事長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目 4番5号 TEL 076-491-1177
株式会社 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
ライフ・クリエイト株式会社 (代表取締役 北野 満) リハビリ・デイサービス おやべ リハビリ・デイサービス たかおか リハビリ・デイサービス となみ	〒932-0814 小矢部市赤倉207 TEL 0766-67-2001

一般社団法人 富山県作業療法士会事務局より

メーリングリスト登録のお願い

現在、メールを通じて、ホームページや施設宛での発送以外に多くの情報を配信しています。これまでに、多くの会員の方に登録していただきました。登録がお済でない方は、登録をお願いします。

■対象

一般社団法人 富山県作業療法士会会員

■配信内容

- 協会や県士会が主催する研修会の開催や変更に関するお知らせ
- 作業療法に関する情報（制度改定や最新情報等）
- 災害時の緊急連絡や情報提供
- 協会や県士会からの事務的な連絡
- その他作業療法に有用な情報 等



富山県作業療法士会
会員ML(メーリングリスト)登録
<https://forms.gle/o9XmsZc8cK7yyG8XA>

